

『水の落とし穴！』

5歳児 6月



エピソード

A・B・C児（水チーム）が砂場で1m程の透明ホースの真ん中部分を砂に埋めて交代でホースに水を流して遊んでいました。D・E児（砂チーム）はホースの端から出た水の通り道をスコップを使って砂を掘りました。

水チームが水を流すと、少しずつ道の両サイド（土手）が削れるので砂チームが修復をしていましたが、水チームが代わる代わる水を流すので修復は追いついていませんでした。

すると、E児が「落とし穴つくろ！水の落とし穴！」と水の通り道の途中に穴を掘ることをひらめきました。そして、水チームと砂チームの勝負が始まりました。

水チームが水を流すと、落とし穴が砂で埋まってしまいました。それを見た水チームの3人は勝ち誇った顔を浮かべていました。

今度は、砂チームが前のめりになって落とし穴を覗き込みながら掘り進めました。水は落とし穴に流れ込んでいき、それを見たE児が「まだ溢れへんで」と満面の笑みで言い、D児と砂チームの勝ちを喜んでいました。その様子を見た水チームの3人は焦った様子で急いで水を汲みにタライに走って行き、その後も勝負が続いていました。

家庭だったら・・・

・公園の砂場や砂浜で水や砂を使って道をつくったり、穴を掘ったりして水VS砂でお子様と対決してみたらいかがでしょうか。水や砂に限らず、いろいろなものでの対決も面白そうですね。

私たち大人では思いつかないような面白い発想や作戦が出てくるかもしれませんよ。

保育者の思い

- ・過去に何度も様々な形で水 VS 砂の対決をして遊んでいました。過去の楽しかった経験を思い出し、チームに分かれて攻防をどう繰り広げていくか見てみたいと思いました。
- ・「これ以上壊されたくない」という思いから、何とかしたいと思い、「水の落とし穴」をつくるという発想の変化が面白いなと思いました。
- ・今後こういった攻防戦をしながら遊ぶ時に自分のチームが勝つにはどうすればいいか自分なりに考えて友達と伝え合ったり、協力し合ったりしながら遊んでほしいと思います。

子どもの育ちや学び

- ・水 VS 砂・落とし穴という過去の経験をもとに遊びを展開させていました。

<過去の経験・遊びの展開>

- ・遊びの中で起こったことを受けてひらめいたことを友達に伝えながら遊んでいました。<ひらめき>
- ・攻防の中で相手チームがしていることをよく見たり、表情を読みとったりするなど、周りの状況をよく見てどうすれば攻められるか、守れるかそれぞれ考えながら遊んでいました。<状況判断>